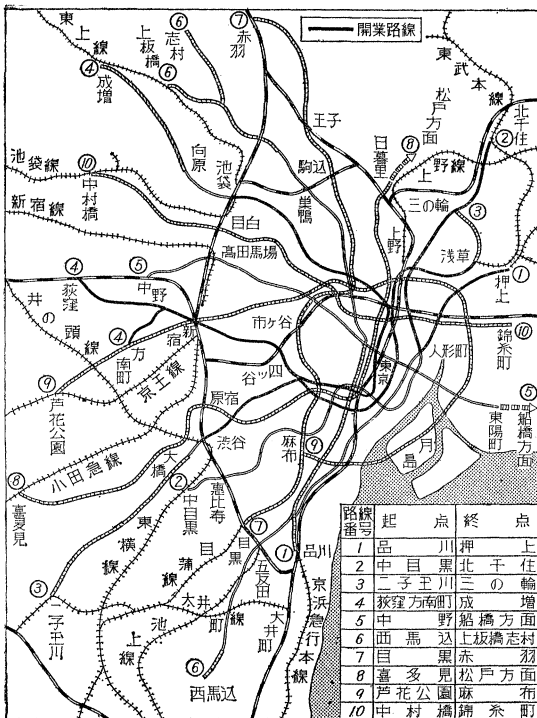


### 都市交通審議会「東京の地下高速鉄道整備増強計画の改訂」について答申

都市交通審議会は東京およびその周辺における高速鉄道、特に地下鉄道の輸送力の整備増強に関する基本的計画の改訂について諮問をうけ、再検討を進めていたが、6月8日運輸大臣に答申した。本答申は昭和31年答申が、交通需要の伸び実績が当時の推定値を大中に上まわり、路面交通事情が極度に激しくなった結果の改訂で、首都地下鉄網を決定したものと考えられる。答申の内容は路線網、工期、所要資金よりなっている。路線網は従来の計画5路線延長110kmを路線の延長および変更をふくめて10路線、延長約260km（うち開業区間、および未確定区間をふくむ）とし、その工期は従来の計画と同様昭和50年度完成を目標としている。また所要資金は総額5250億円を見込

路線名	起点	終点	延長(km)	開業延長(km)	工期	特記
1号線	品川	押上	12.5	3.8	昭37~39	
2号線	中目黒	北千住	20.5	8.3	37~39	
3号線	二子玉川	三の輪	26.0	14.3	49~50	渋谷~二子玉川間は東京急行KKにて建設
4号線	荻方	窪町	35.5	27.4	47~49	
5号線	中野	船橋方面	30.0		37~42	東陽町まで16kmが確定
6号線	西馬込	上板橋	29.0		37~42	
7号線	目黒	赤羽	20.5		46~50	
8号線	喜多見	松戸方面	40.0		39~45	日暮里まで25kmは確定
9号線	芦花公園	麻布	27.0		45~50	
10号線	中村橋	錦糸町	17.5		43~46	

地下高速鉄道網改訂路線図



み、昭和40年度までに1550億円、昭和45年度までに2050億円、昭和50年度までに1650億円となっている。

新地下鉄道路線(図面参照)の延長および工期は表のとおりである。

### 一ツ瀬発電所(九州電力KK)の工事現況

九州電力KKは昭和35年2月以来、宮崎県一ツ瀬川本流に一ツ瀬発電所を新設工事中であるが、昭和38年5月運転開始目標に、目下最終段階に入った。工事概要ならびに現況は次のとおりである。

発電所位置: 宮崎県西都市大字片内字内平  
 出力(kW): 最大180000 常時19100  
 使用水量(m³/sec): 最大137.0 常時21.5  
 有効落差(m): 最大152.40 常時144.11  
 年間発生電力量: 437714kWh

ダム: 型式 ドームアーチ式越流型コンクリート造  
 高さ128.00m, 頂長419.896m, 頂巾4.0m, 底巾23.0m

貯水池: 総貯水容量261315000m³, 有効貯水容量155500000m³, 利用水深30.00m

導水路: 型式 圧力式円型トンネル  
 内径6.90m, 延長2698m

調圧水槽: 非越流型水室式サージタンク  
 水圧鉄管: 鉄管内径内径6.0m, 延長91m, 分枝球内径9.0m, 鉄管部2条内径4.2~3.5m, 延長各220m

交流取水: 4溪流取入設備, 交流水路総延長6044m  
 車: 立軸反動型単輪半流渦型フランシス水車, 93000kW 2台

発電機: 立軸閉鎖風扇循環型3相交流同期発電機, 100000kVA 2台

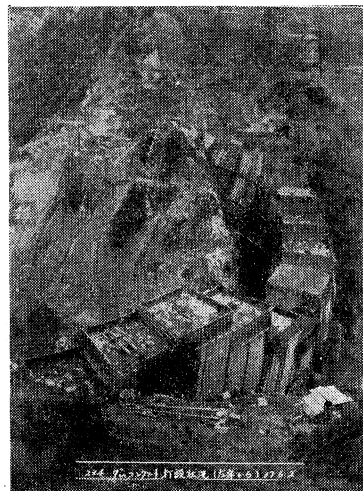
請負業者: ダムならびに取水ロー鹿島建設, 導水路一奥村組, 発電所一大林組, 交流一三井建設, 後藤組

総工事費: 2043000000円

現況: 昭和37年6月20日現在

ダム 掘削435000m³のうち433600m³終了99.7%, コンクリート560000m³のうち245000m³打設43.8%  
 進捗率76.0%  
 水路発電所関係 進捗率74.7%  
 総合進捗率 79.3%

### 一ツ瀬ダム工事現況 (左岸より望む)



### ダム工学集団研修の実施について

今度わが国海外技術協力事業の一環として、ダム工学の集団研修が実施されることとなった。これは従来東南アジアにおけるコロンボプラン、中近東・アフリカ技術協力計画、あるいはラテンアメリカ技術協力計画などによって個々に受け入れていたダム工学研修生を、集団的に受け入れて研修しようとするものである。もちろんこの研修は政府事業として行なわれるものであって、その目的はわが国の進んだダム工学技術を東南アジアを始めとし、中近東、アフリカ、ラテンアメリカなどの諸国の関係官民に広く紹介して、それらの国々のダム工学技術の進歩発展に寄与するとともに、研修の過程を通じて、これら諸国民との相互理解と友好親善関係の増進をはかることとするものである。

研修生の応募資格として、

- (1) 前述の各種技術協力計画にもとづいてそれぞれの国の政府が推せんした者。
- (2) 大学またはこれと同等の学力をもち、3年程度の実務経験のある者。
- (3) 研修は英語で行なわれるので英会話ならびに英語に堪能な者。

であることが必要とされている。

研修期間は4カ月で、来る8月15日から開講の予定である。研修場所としては建設省土木研究所がこれにあてられる。研修人員は37年度は約10人で、研修に必要な経費すなわち研修生の日本までの往復旅費、滞在費、見学旅行費などは全部日本政府の負担である。

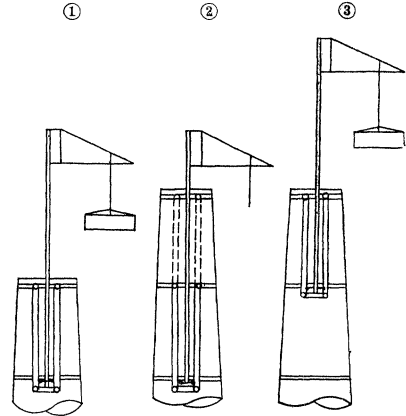
講義は1週5日間とし1日5時間制で、12週、都合300時間行なわれる。講義終了後国内の工事現場などの見学旅行をすることとなっている。講師は建設省河川局、土木研究所、電力中央研究所、電源開発KKなどの職員の中から適当な方々をお願いする予定である。

研修科目と時間は次のとおりである。

1. オリエンテーション	5 時間
2. 総論	25 "
3. 調査	20 "
4. コンクリートダム	85 "
5. フィルタイプダム	30 "
6. 基礎処理	10 "
7. 余水吐および減勢工	25 "
8. 門扉	10 "
9. 堤体測定	10 "
10. ダム管理	10 "
11. 特殊項目	70 "

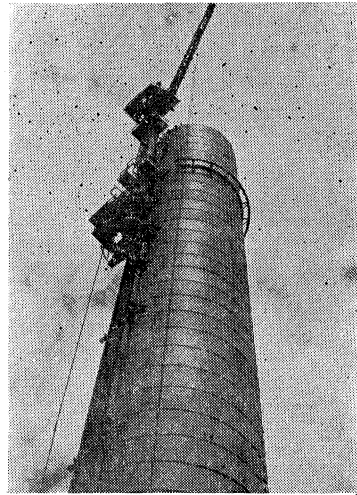
### 姫路第2火力発電所1号機用煙突完成

関西電力KK姫路第2火力発電所の鋼製煙突(高さ100m, 頂径5.25m, 基部8.6m)が完成した。新しい架設法として、煙突自体の強度と高さを利用し側面の仮設レールにクレーンをとりつけ、煙突、筒体ブロックをつり上げて溶接し、煙突の伸長にもなってクレーンを逐次せり上げてゆくという方法がとられた(図参照)。日立造船の施工である。



注:① 積込み, ② せり上げ, ③ せり上げ完了, 積込み

### 建設状況



### 阪神高速道路公団の設立

さる5月1日阪神高速道路公団が設立され、大阪市・神戸市・両市周辺地区の自動車専用道路が、同公団によって建設されることになった。計画によると八路線(巾員16.4m, 延長58km)総事業費912億円で、昭和40年までに延長13km(約200億円)の建設が予定されている。

### 参議院議員に4氏当選

本学会会員で全国区に立候補中であった、稲浦鹿蔵(18位)、江藤智(35位)、および地方区に立候補中の岩沢忠恭(広島県)、熊谷太郎(福井県)の各氏はともに当選された。